

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2020年1月16日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 公的病院等 再編統合反対・地域医療を守れ! 広がる運動

地域医療と公立病院を守る道連絡会は、厚生労働省の医療給付費削減を目的に病床を削減するための「地域医療構想」と公立・公的病院等の再編統合案に反対し地域医療の充実を求めるため、市町村議会での国への意見書採択の働きかけや再編統合対象の54医療機関や自治体との懇談を進めています。

### 26市町村議会で国への意見書可決！

昨年12月、道内26市町村議会（9市17町村）で、地域医療構想や再編統合案などに対する国への意見書が可決しています（10月の道議会も含め27）。

#### 「町内移動1時間以上の町・離島も対象 誠に遺憾」

唯一の病院が再検証の対象となった別海町の議会では「本町のように同一町内で1時間以上も移動にかかる自治体の病院や離島の病院実名までもが同列で公表されていることは誠に遺憾」として「国民の命を守るため安易な公立病院の再編・統合に反対する意見書」を全会一致で採択しました。また、多くの議会で「北海道は、**広大な面積といった地理的条件、冬季間の積雪・寒冷といった気象条件、JR路線をはじめとした公共交通機関の削減**が進行し、通院の足が奪われ、医療過疎が深刻である」ことを訴えています。中には、「病床削減を迫る『地域医療構想』はそれ自体に無理があり、『地域医療構想調整会議』において、いまだ結論を見いだせずにいる」とし、今回の国・厚労省のやり方は、地域の議論の停滞や混乱をもたらしかねず**地方自治の精神にも反する**と批判する議会もあります。

#### 意見書を可決した市町村議会

（9市17町村 議決月日順）

- 【市】 江別市・釧路市・赤平市・根室市  
・石狩市・室蘭市・登別市・旭川市  
・名寄市
- 【町】 森町・弟子屈町・標茶町・倶知安町  
・上富良野町・豊浦町・洞爺湖町  
・浦河町・八雲町・安平町・日高町  
・新ひがた町・広尾町・別海町  
・余市町・むかわ町・様似町

## 首長や医療機関が 懇談や議会で 医療機関存続表明

再編統合の再検証の対象になった医療機関や自治体の首長の多くが、「道連絡会」やその構成団体との懇談や議会などで、再編統合に反対し、医療機関の存続を表明しています。

#### 旭川市長が 市立病院の存続表明



旭川・上川社保協は、12月18日、旭川市の西川将人市長と懇談しました。今回の再編・統合の対象になっている市立旭川病院の労働組合の橋本はるえさんから、「現在、精神科の外来は200人で、入院は100床あり、旭川医大や旭川市内の病院からも紹介も受けています。精神科の患者が増える事があっても減る事はありません。旭川市や道北地域の精神科医療の要になっています。小児科をはじめとした夜間の急病センター機能の存続にも影響します」と、病院の存続を求めました。

要請書を受け取った西川市長は、「要請の趣旨を十分に理解しています。財政的な問題などありますが、市立旭川病院を存続できるよう進めていきたい」と回答しました。

#### 怒っています！「ベッドを持つ唯一の医療機関」

北海道民医連は、12月5日、再編・統合の対象となった門別町立国民健康保険病院と懇談しました。

病院の事務長は、「当院は日高町でベッドを持つ唯一の医療機関で、急性期医療、在宅医療なども展開して、町内の救急車は全てここに来ます。学校医も担い、特養ホーム、老健施設などに入居している高齢者が体調を崩した際の受け入れ先にもなっています。全ての町民の健康を守る役割を担っています」と語りました。

「町長も病院長も今回の発表には怒っています。町長は議会で門別病院は今まで通り存続させると表明していますので、患者さんや職員には動揺は見られていません」と町の立場も説明した。

#### 学習会「公的病院病床再編・統合で北海道はどうなる？」

日時 2月3日（月） 18時～20時  
場所 かでる2・7 710会議室  
講師 鎌倉 幸孝さん  
（日本医労連 中央副執行委員長）